

患者さんへ

「当院において非小細胞肺癌に対して化学放射療法後に
デュルバルマブを投与した症例の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	当院で 2018 年 5 月から 2025 年 2 月までに非小細胞肺癌に対する化学放射線療法を受けた方
2 研究目的・方法	デュルバルマブは現在、非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後の標準治療として使用されています。 当院で 2018 年 5 月から 2025 年 2 月までに非小細胞肺癌に対する化学放射線療法を受けた患者さんの治療成績および、その後にデュルバルマブ治療を受けた患者さんの臨床状態、副作用反応等について調査しました。 2025 年 3 月 6 日 第 22 回日本臨床腫瘍学会にて発表
3 研究に用いる情報の種類	情報：年齢、性別、抗がん剤治療の治療歴、遺伝子変異の種類、副作用等の発生活況 等
4 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 連絡先： 和泉市立総合医療センター 腫瘍内科 岡部 崇記(研究責任者) 〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1 電話：0725-41-1331

2025 年 6 月 6 日作成(第 1.1 版)